

# 特集 鹿児島県自動車販売

## 店舗投資も活発化 状況の変化に対応

### 代替促進の環境形成が重要

2025年(1~12月)の新車販売台数は(登録車と軽自動車の合計)は、前年比4.1%増の5万8656台となり、2年ぶりに増加した。登録車、軽自動車ともに前年を上回った。前期別では、上期(1~6月)は前年超えした一方で、下期(7~12月)は前年割れとなり、上期の伸びが下期の落ち込みをカバーする必要がある。業界全体では採用難や人手不足が続いており、販売、サービス、事務の各分野で負担が増している。こうした課題への対応として、デジタル技術を生かした業務改革が不可欠だ。

業界活性化に向けて「モビリティの視点、新たな価値を創出することも重要だ。単独では難しい取り組みでも、連携すれば実現できることもある。交通空白地における移動手段の確保など、地域課題の解決にもつながる」と、中村博之は語る。

「事業活性化では、当協会として昨年、中古車イベントを初開催した。今後も定期的に開催し、地域の皆さまに親しまれる恒例行事として定着させていきたい」と、中村は語る。

現状、受注状況については慎重な見方を示すディーラーも多い。消費マインドの低下に加え、車両価格の上昇による買い控えを懸念する声も出ている。「残価設定型クレジットで購入されたお客さまの代替は比較的スムーズだが、現金購入のお客さまは買い替えを見送る傾向がある」と(県内ディーラー)との声もある。今後は残価設定型クレジットやサブスクリプションなどのさらなる浸透を通じて、代替を促進する環境を形成していくことが重要となりそうだ。新車市場が成熟する中で、市場活性化には代替サイクルの短縮が欠かせない。

また、県内では店舗投資も活発化している。市場環境の変化に対応しつつ、店舗網の再構築を進める動きもある。最新設備の導入や、顧客の利便性向上とサービス品質の底上げを図る狙いだ。あわせて、整備工場の機能強化や作業環境の改善に取り組む動きも目立ち、人材の確保や定着につなげたい考えだ。

中古車販売の強化も重要な課題として位置付けているディーラーが増えている。昨年は鹿児島県自動車販売店協会が主催し、中古車イベントを初開催した。新車ディーラーによる中古車の信頼性を業界全体で訴求し、販売拡大につなげる狙いだ。中古車イベントは定例開催していくことを視野に検討が進んでいる。

各ディーラーでは中古車展示場の拡充や在庫車の充実を進めており、系列によってはオンライン商談の活用にも取り組む方針だ。ディーラーの信頼性やブランド力を生かし、オンラインでも安心して購入できる環境を整えることで、中古車事業の一層の活性化に取り組んでいく。

### 鹿児島県自動車販売店協会 中村 博之 会長



「2025年の登録車販売台数は前年比1.2%増と前年を上回った。車種によって供給制約はあるが、全体としては比較的スムーズに新車をお届けできる環境が整いつつある。販売店としては今後も、メーカーと一体となり、市場の活性化に取り組んでいきたい」と、中村は語る。

「新車販売に向けて商品の魅力を丁寧に伝えるとともに、購入プランの提案力向上が欠かせない。常にお客さまの立場に立ち、金融」

「デジタルトランスフォーメーション(DX)やAI(人工知能)、ロボティクス・プロセス・オートメーション(RPA)等を活用し、業務効率化と生産性向上を進める必要がある。業界全体では採用難や人手不足が続いており、販売、サービス、事務の各分野で負担が増している。こうした課題への対応として、デジタル技術を生かした業務改革が不可欠だ」

「業界活性化に向けてモビリティの視点、新たな価値を創出することも重要だ。単独では難しい取り組みでも、連携すれば実現できることもある。交通空白地における移動手段の確保など、地域課題の解決にもつながる」と、中村は語る。

「事業活性化では、当協会として昨年、中古車イベントを初開催した。今後も定期的に開催し、地域の皆さまに親しまれる恒例行事として定着させていきたい」と、中村は語る。

### 鹿児島県軽自動車協会 椎葉 正博 会長



「2025年の軽自動車販売は前年比7.7%増と伸長した。車種別では、乗用車が11.5%増となった一方、商用車は1.8%減となった。県内経済は一次産業の比重が高いことを踏まえ、軽自動車は昨年より回復したが、具経済全体の回復は途上にあるとみている。軽商用車については新型車の投入もあり、今後の需要喚起に期待したい。また、年度ベースでは環境性能割増に伴う買い控えが懸念される。軽自動車は小型で環境性能に優れており、最もエコな車とも言える。安全性も向上しており、こうした特長を積極的にPRし、さらなる普及につなげたい。ユーザーが」

## デジタル生かした業務改革不可欠

「モビリティの視点、新たな価値を創出することも重要だ。単独では難しい取り組みでも、連携すれば実現できることもある。交通空白地における移動手段の確保など、地域課題の解決にもつながる」と、中村は語る。

「事業活性化では、当協会として昨年、中古車イベントを初開催した。今後も定期的に開催し、地域の皆さまに親しまれる恒例行事として定着させていきたい」と、中村は語る。

## 自宅で充電できるEV利点訴求

購入しやすい環境を整えるため、軽自動車協会としては引き続き負担軽減の要望に力を入れていく。

「軽自動車でもEVの投入が進み始めた。EVは地方にも適した商品だと認識している。普及拡大に向けては、充電インフラや航続距離の問題が大きな指摘されている。ただ、地方ではガソリンスタンドの減少も問題となっている。そうした点も踏まえ、自宅で充電できるEVの利点を訴求し、普及を進めたい」

「業界の課題について人材確保が課題だ。業界の魅力が高めるために、社員の満足度向上への取り組みや生産性改善、業務効率化の推進が大切になっている」と、中村は語る。

2025年1~12月 鹿児島県新車登録台数

車種	1月	前年同月比		2月	前年同月比		3月	前年同月比		4月	前年同月比		5月	前年同月比		6月	前年同月比		7月	前年同月比		8月	前年同月比		9月	前年同月比		10月	前年同月比		11月	前年同月比		12月	前年同月比		1~12月	前年同月比														
		前年同月比	前年同月比		前年同月比	前年同月比		前年同月比	前年同月比		前年同月比	前年同月比		前年同月比	前年同月比		前年同月比																																			
乗用	1,554	112.9	1,610	99.4	1,876	89.2	1,316	100.5	1,084	92.7	1,424	101.9	1,418	94.9	941	80.2	1,543	104.3	1,443	88.5	1,375	86.7	1,127	81.7	16,711	94.3	835	113.5	1,059	152.6	1,070	131.6	849	144.4	720	113.4	948	117.9	884	103.9	802	90.1	853	83.1	1,057	102.7	954	119.1	759	119.2	113,4	113.4
小型	86	83.5	82	88.2	155	94.5	149	128.4	77	78.6	84	83.2	94	79.7	82	73.9	120	97.6	106	119.1	100	84.7	109	67.7	1,244	89.2	103	73.1	162	200.0	220	129.4	156	119.1	151	114.4	167	93.8	173	98.3	186	113.4	200	111.1	192	129.7	205	154.1	183	125.3	2,098	119.0
計	2,389	113.1	2,669	115.4	2,946	101.1	2,165	114.1	1,804	100.0	2,372	107.7	2,402	98.4	1,743	84.5	2,396	95.6	2,500	94.0	2,329	97.6	1,886	93.5	27,601	101.0	189	83.3	244	140.2	375	112.3	305	123.5	228	99.1	251	90.0	267	90.8	268	97.5	320	105.6	298	125.7	305	121.5	292	95.1	3,342	105.8
貨物	6	120.0	9	128.6	17	121.4	7	77.8	6	200.0	2	20.0	6	85.7	0	0.0	2	25.0	7	100.0	3	60.0	2	66.7	67	80.7	54	98.2	71	89.9	102	100.0	78	100.0	51	60.7	71	85.5	76	97.4	82	124.2	67	79.8	64	87.7	65	116.1	74	104.2	855	94.1
バス	54	98.2	71	89.9	102	100.0	78	100.0	51	60.7	71	85.5	76	97.4	82	124.2	67	79.8	64	87.7	65	116.1	74	104.2	855	94.1	7	53.8	10	58.8	19	135.7	9	180.0	6	120.0	10	111.1	11	110.0	8	61.5	9	112.5	10	62.5	116	91.3				
大型特殊	7	53.8	10	58.8	19	135.7	9	180.0	6	120.0	10	111.1	11	110.0	8	61.5	9	112.5	10	62.5	116	91.3	2,264	93.8	31,981	101.2	2,645	109.6	3,003	115.9	3,459	102.4	2,564	114.7	2,095	98.5	2,706	104.8	2,762	97.6	2,099	86.9	2,796	96.0	2,877	96.2	2,711	100.1	2,264	93.8	31,981	101.2
合計	2,645	109.6	3,003	115.9	3,459	102.4	2,564	114.7	2,095	98.5	2,706	104.8	2,762	97.6	2,099	86.9	2,796	96.0	2,877	96.2	2,711	100.1	2,264	93.8	31,981	101.2	2,645	109.6	3,003	115.9	3,459	102.4	2,564	114.7	2,095	98.5	2,706	104.8	2,762	97.6	2,099	86.9	2,796	96.0	2,877	96.2	2,711	100.1	2,264	93.8	31,981	101.2

2025年1~12月 鹿児島県軽自動車届出数

車種	1月	前年同月比		2月	前年同月比		3月	前年同月比		4月	前年同月比		5月	前年同月比		6月	前年同月比		7月	前年同月比		8月	前年同月比		9月	前年同月比		10月	前年同月比		11月	前年同月比		12月	前年同月比		1~12月	前年同月比														
		前年同月比	前年同月比		前年同月比	前年同月比		前年同月比	前年同月比		前年同月比	前年同月比		前年同月比	前年同月比		前年同月比																																			
乗用	1,726	125.9	2,030	141.3	1,915	121.8	1,518	148.1	1,245	106.0	1,597	110.6	1,696	104.8	1,479	107.0	1,958	98.1	1,830	105.9	1,594	93.9	1,411	92.6	19,999	111.3	306	109.7	326	157.5	314	120.8	300	122.4	235	101.3	317	94.1	296	96.7	257	95.9	337	92.8	341	105.9	274	93.5	254	93.7	3,557	105.1
トラック	192	62.3	211	116.6	288	151.6	228	113.4	255	112.8	317	91.1	302	91.8	230	74.9	275	74.3	331	81.1	211	61.9	263	136.3	3,103	91.2	0	-	1	50.0	4	0.0	4	133.3	0	0.0	3	150.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1	-	16	80.0		
その他	0	-	1	50.0	4	0.0	4	133.3	0	0.0	3	150.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1	-	16	80.0	498	84.8	538	137.9	606	134.7	532	118.5	490	106.1	637	92.7	599	94.3	488	84.4	612	83.3	672	91.9	486	76.5	518	111.2	6,676	98.1
計	2,224	113.6	2,568	140.6	2,521	124.7	2,050	139.1	1,735	106.1	2,234	104.8	2,295	101.8	1,967	100.4	2,570	94.1	2,502	101.7	2,080	89.2	1,929	96.9	26,675	107.7	498	84.8	538	137.9	606	134.7	532	118.5	490	106.1	637	92.7	599	94.3	488	84.4	612	83.3	672	91.9	486	76.5	518	111.2	6,676	98.1
合計	2,224	113.6	2,568	140.6	2,521	124.7	2,050	139.1	1,735	106.1	2,234	104.8	2,295	101.8	1,967	100.4	2,570	94.1	2,502	101.7	2,080	89.2	1,929	96.9	26,675	107.7	498	84.8	538	137.9	606	134.7	532	118.5	490	106.1	637	92.7	599	94.3	488	84.4	612	83.3	672	91.9	486	76.5	518	111.2	6,676	98.1

2025年1~12月 鹿児島県登録車・軽自動車合計

車種	1月	前年同月比		2月	前年同月比		3月	前年同月比		4月	前年同月比		5月	前年同月比		6月	前年同月比		7月	前年同月比		8月	前年同月比		9月	前年同月比		10月	前年同月比		11月	前年同月比		12月	前年同月比		1~12月	前年同月比														
		前年同月比	前年同月比		前年同月比	前年同月比		前年同月比	前年同月比		前年同月比	前年同月比		前年同月比	前年同月比		前年同月比	前年同月比		前年同月比	前年同月比		前年同月比	前年同月比		前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比																	
登録車	2,645	109.6	3,003	115.9	3,459	102.4	2,564	114.7	2,095	98.5	2,706	104.8	2,762	97.6	2,099	86.9	2,796	96.0	2,877	96.2	2,711	100.1	2,264	93.8	31,981	101.2	2,224	113.6	2,568	140.6	2,521	124.7	2,050	139.1	1,735	106.1	2,234	104.8	2,295	101.8	1,967	100.4	2,570	94.1	2,502	101.7	2,080	89.2	1,929	96.9	26,675	107.7
軽自動車	4,869	111.4	5,571	126.1	5,980	110.7	4,614	124.4	3,830	101.8	4,940	104.8	5,057	99.5	4,066	92.9	5,366	95.1	5,379	98.7	4,791	95.1	4,193	95.2	58,656	104.1	45.7	-	46.1	-	42.2	-	44.4	-	45.3	-	45.2	-	45.4	-	48.4	-	47.9	-	46.5	-	43.4	-	46.0	-	45.5	-
合計	4,869	111.4	5,571	126.1	5,980	110.7	4,614	124.4	3,830	101.8	4,940	104.8	5,057	99.5	4,066	92.9	5,366	95.1	5,379	98.7	4,791	95.1	4,193	95.2	58,656	104.1	45.7	-	46.1	-	42.2	-	44.4	-	45.3	-	45.2	-	45.4	-	48.4	-	47.9</									

# 鹿児島県 新車ディーラー各社の動向

## 新型車てこに販売拡大へ

鹿児島トヨタとグループのネットトヨタ鹿児島の今期の業績は堅調に推移している。中古車事業では鹿児島トヨタが前年比10%増、ネットトヨタ鹿児島が同15%増で推移。今後も周辺事業の強化を進めていく。

新車販売では供給制約が続く中、スピード感を重視した対応で受注の最大化を図る。新車販売の活性化と下取り強化を進めるため、残価設定型ローンの拡販にも一段と力を入れる。中古車は今後も伸びる分野と位置づけ、展示車の充実などに取り組む。

店舗投資も進める。鹿児島トヨタでは3月に伊敷店を隣接地へ移転し、リニューアルオープンした。来年度には複数エリアで店舗網の充実を図る計画。店舗網の整備を通じて、顧客に安全・安心を提供しながら販売のさらなる活性化を図る。

また、人事評価制度の見直しも進める計画で、人材育成とキャリア形成を後押ししていく。

鹿児島トヨペットは社員の待遇向上や年間休日の拡大、労働環境の改善などを通じ、社員が生き生きと働ける企業づくりを二層推進している。今期は企業理念・ビジョン・行動指針を改めて策定し、社員と共有。さらなる成長に向けた意識の統一を図るとともに、一人ひとりが自信を持って行動できる環境を整えた。

新車販売では、金融商品の提案力を強化することで、代替需要の掘り起こしと代替サイクルの向上を図る。

サービス部門では来店型店舗づくりに引き続き注力する。トヨタ生産方式を取り入れた改善活動を店舗ごとに進め、生産性の向上を推進。来店型サービスを実現できる体制づくりを推進している。

## 労働環境の改善促進



鹿児島トヨタはアドックンバーと空気清浄機の活用で協定締結



鹿児島トヨペットはトヨタカローラが運営するGR Garageに販売の盛り上げに注力

鹿児島日産は商業施設での新型車群を訴求し販売を盛り上げた

鹿児島三菱は新型車群をフックに販売の盛り上げに注力

## 残価設定型ローンにも力

さらなる向上を目指す。今月にはGRガレージ鹿児島を新設し、クルマのわくわく感を発信する取り組みを強化。クルマの魅力を伝え、活動の強化を図っていく。

また、顧客基盤の拡大に向け、中古車事業の強化を進めている。中古車販売では、大型店舗を今年に開設予定で、ライブ商談を強化するための設備も整備している。

同社と鹿児島トヨペットとの協業では、営業面での連携も拡大している。GRガレージ鹿児島と、今月開設予定の大型の中古車店舗は、両社からスタッフを配置し共同で運営する。ブランド発信や中古車事業においてスケールメリットを生かす、事業拡大につなげる。

鹿児島日産は販売が好調な新型「ルークス」の勢いを生かし、新車拡販を進める。「見ルークス」として訴求する先進安全機能に加え、全体的な商品力の高さを訴求し、販売のさらなる底上げを目指す。新型「リーフ」は航続距離などに加え、EVのメリットをしっかりと訴求し盛り上げる。また、販売協力店との関係強化を進めながら、日産ファンの拡大を図る。2月には中近東向けの「パトロールニスモ」を特別展示するなど、日産ブランドの発信を一段と強化している。

来年度は新型「エルグランド」など話題性の高い新車投入が予定される。さらなる成長を目指して、今年迎える80周年企画の展開や、重視する安心と安全、さらには

クワクの提供を実現していくことで、笑顔で愛される地域一番店を目指す。

鹿児島県ホンダは登録販売者で好調な「フリード」の一層の拡販と、SUVラインナップの訴求強化で新車販売の巻き返しを図る。残価設定型クレジットや楽まるによる提案を強化し、代替需要を喚起する。買い方の提案も含めて営業力を高め、保有から利用への価値提案を進める。EV販売ではスタッフの知識や提案力の向上に引き続き取り組み習熟度を高め、需要喚起につなげる。

県ホンダ会の運営では、全体の活動を精査することで、スケールメリットの追求と環境変化への対応を両立した活動を展開していく。

スズキ自販鹿児島は新車「キャリー」の拡販に注力する。使い勝手を重視した開発思想を丁寧に伝えるなど、商品力の強化点を分かりやすく説明し、代替需要の掘り起こしを図る。乗用車では「スペースシア」を中心に、主力車種を積極的にPRし、幅広い層への訴求を進める。

拠点投資も計画的に進める。店舗へのAI導入や整備工場の機能向上を通じ、顧客満足度の向上と業務効率化を両立。労働環境整備ではサービス工場への冷暖房設備の導入を進め、作業負担軽減や熱中症対策など安全面を強化する。2028年度までに全拠点への導入を完了させ、働きやすい職場づくりを通じて、人材定着と生産性向上を目指す。

鹿児島タイハツは1月に組織変更を実施し、業務のスピードアップと人材育成を強化した。初の女性部門長を登用するなど、適材適所の人事にも注力する。

新車販売は主力の「タント」に加え、新型「ムーヴ」の投入効果を生かし、販売の活性化につなげている。「ワンダフルクレジット」の提案強化にも注力する。出張展示会の開催も拡大し、鹿児島市以外の地域での実施を検討。地元スーパーなどでの開催を想定し、来場しやすい展示会を通じてブランド露出を強化する。EVについても出張展示会での訴求を強化し、認知向上と販売促進につなげる。全店舗への展示車・試乗車配置や営業スタッフの移動用車両としての活用により、露出機会を広げる。

入庫促進策の展開により保有基盤の再構築にも取り組む。早期車検予約キャンペーンなどを通じて入庫促進と顧客情報の確認を進め、安定収益確保と代替需要の獲得を目指す。昨年末には監査室を新設し、コンプライアンス体制を強化した。

鹿児島三菱は営業体制の強化に引き続き注力する。25年度の新型車販売は前年対比2割増を見込む。新型デリカミニに加え、ビッグマイナッチェンジしたデリカD:5などの商品力が新規来店を促し、販売を押し上げている。登坂キットを活用した体験型イベントなどを通じ、ブランドの特長訴求を強化する。

既納客との関係強化にも力を入れる。サービス部門を軸に接点を増やし、代替需要の取り込みを進めることで、事業基盤を強固にする。人員増強を進めながら販売拡大を図り、今後も店舗ネットワークの拡充も検討する。

来期は中古車事業の強化にも注力し、在庫を約2割拡大する計画だ。新車・中古車の両面で販売効率向上を図る。中古車、サービス、保険、クレジットといった周辺事業の総合力を高め、経営基盤の強化と持続的成長につなげる。



**MOVE**



**Tanto CUSTOM**

DAIHATSU

30th ANNIVERSARY

300周年

鹿児島ダイハツ販売株式会社 本社/鹿児島市東郡元町7番22号 TEL 099-256-8116 ホームページはこちら

### 軽トラ CARRY シリーズがリニューアル!



**CARRY** **SUPER CARRY**

積める。使える。可能性広がる。

SUZUKI スズキ自販鹿児島 鹿児島市新栄町14-14 (代)099-253-2525



**NISSAN**

もっと、いっちゃんいますか。

**NEW LEAF**

リーフ

生活を進化させる 新型リーフデビュー!

どこまでも安心  
災害時などでも 最大5日間の電力使用が可能

どこへでもドライブ  
航続距離 最大702km(WLTCモード)

お問い合わせ 鹿児島日産自動車株式会社 鹿児島市西千石町7-5 ☎0120-49-5523



さあ、心がもっと躍動する場所へ。

歴代最強 **DELICA** 誕生。

スピードは控えめに。エコドライブで環境にやさしく。後席もシートベルト。チャイルドシートも忘れずに。

鹿児島三菱自動車販売株式会社 本社/鹿児島市新栄町6-22 ☎099(256)2121